



## カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：スポーツプログラム（米国）

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生10名が、2019年1月15日～22日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

#### 【参加国・人数】

米国：10名

#### 【訪問地】

東京都、宮崎県

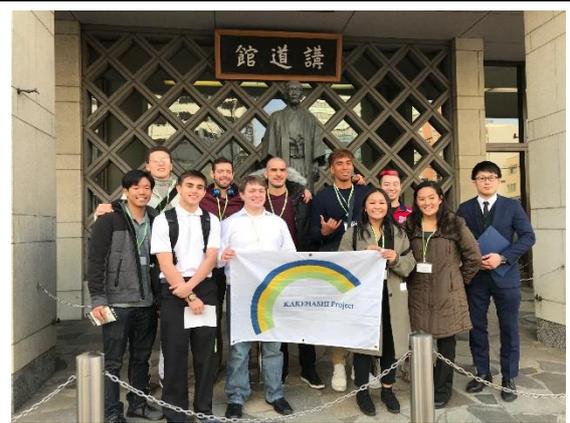
### 2. 日程

- |          |  |
|----------|--|
| 1月15日(火) | 【来日】   |
| 1月16日(水) | 【オリエンテーション】<br>【日本理解講義】<br>【スポーツ交流】講道館（文京区）・志道館（新宿区） |
| 1月17日(木) | 東京都から宮崎県へ移動<br>【講義】延岡市役所                             |
| 1月18日(金) | 【スポーツ交流】延岡学園高等学校柔道部<br>【視察】旭化成資料館<br>【ホームステイ対面式】     |
| 1月19日(土) | 【スポーツ交流】延岡学園高等学校柔道部<br>【文化体験】座禅<br>【ホームステイ】          |
| 1月20日(日) | 【文化体験】居合道鑑賞<br>【ホームステイ歓送会】<br>【ワークショップ（報告会準備）】       |
| 1月21日(月) | 宮崎県から東京都へ移動<br>【成果報告会】                               |
| 1月22日(火) | 【視察】刀剣博物館<br>【離日】                                    |

### 3. プログラム記録写真



1/16【オリエンテーション】



1/16【スポーツ交流】講道館（文京区）



1/18【視察】旭化成資料館



1/19【スポーツ交流】延岡学園高等学校  
柔道部



1/20【文化体験】居合道鑑賞



1/21【成果報告会】

### 4. 参加者の感想

#### ◆ 米国, 学生

ホームステイで、柔道仲間と私は、延岡市北方町美々地の山間に住む、老夫婦の家に滞在しました。私にとって老夫婦は、まるで実の祖父母のようでした。帰国してからは彼らがいなくなったようで、とても寂しくなりました。3時間もの間、人生について話をしてくださり、自分の好きなことをやるのが幸福につながるのだと話してくださいました。老夫婦の子供たちは既に成人して独立しているため少し寂しく感じていたところ、お客さんが訪ねてくるのが自分たちの今の生きがいであると話してくださいました。それを聞いて、来年か2021年には、もう一度老夫婦の元を訪ねよう

と誓いました。

◆**米国, 学生**

アンドラディ先生の日本理解講義は、楽しく学べるように配慮されていました。学ぶべき点が多く、非常に興味深いものでした。学校交流では、先生と生徒がお互いを尊重する姿勢が素晴らしかったです。延岡学園高等学校柔道部の生徒は、素晴らしい柔道家たちでした。柔道の技術に優れ、信じられないような速さで動きます。企業訪問では、彼らの親切さと気さくさが印象に残りました。ホームステイでは、ホストファミリーがまるで実の家族のように私たちを扱ってくださり、面倒みてくださったことに感動をおぼえました。今回の旅行で非常に感銘を受けたので、アメリカの柔道家向けのプログラムを今後も続けていただきたいです。

◆ **米国, 学生**

日本人との文化交流が、日本滞在中で最も心に残りました。スポーツだけではなく、ホームステイも日本文化を色々と学ぶことのできる効果的な方法でした。ホームステイ先の家族と地域の珍しいものを見に行ったことで、文化を深く学ぶだけことができただけではなく、日常生活も体験できて、精神性、共通性まで学ぶことができました。それだけではなく、家族同士のやりとり、行動も学ぶことができました。ホームステイ先は愛情をもってお世話してくださり、予想していなかったような嬉しいことも経験しました。非常に感銘を受けたため、日本文化への愛は永遠に消えないと思います。

**5. 受入れ側の感想**

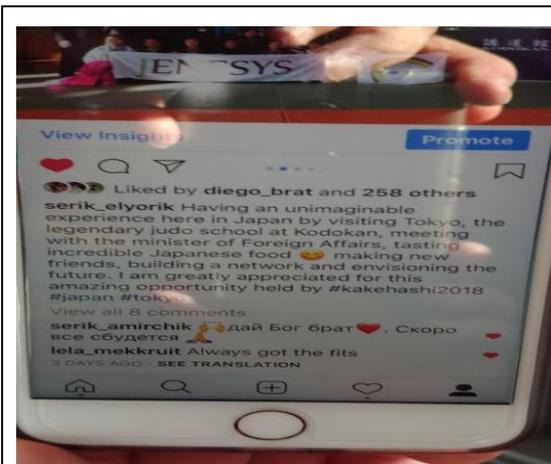
◆ **受入れ市町村関係者**

市をあげて民泊活用に力を入れており、今回は柔道という日本のスポーツをしているアメリカ学生の受入れだったため、学生さんからも受入れ家庭からも好評で終わってとても嬉しく思います。延岡学園高等学校は柔道部が強いのですが、バスケットボールや野球、バレーボールなど他のスポーツも強い。今後も様々な分野で、各国から受入れが可能です。

◆ **ホストファミリー**

非常に親近感がわいた良い子たちでした。宮崎牛としいたけを食べてもらいました。オリンピック代表になるくらい強いそうなので応援したいです。スマートフォンで通訳してくれるから8割くらいはお互い理解できますが、日本語を覚えてまた私たちのところに来るそうなので是非再び会いたいと思っています。

## 6. 参加者の対外発信

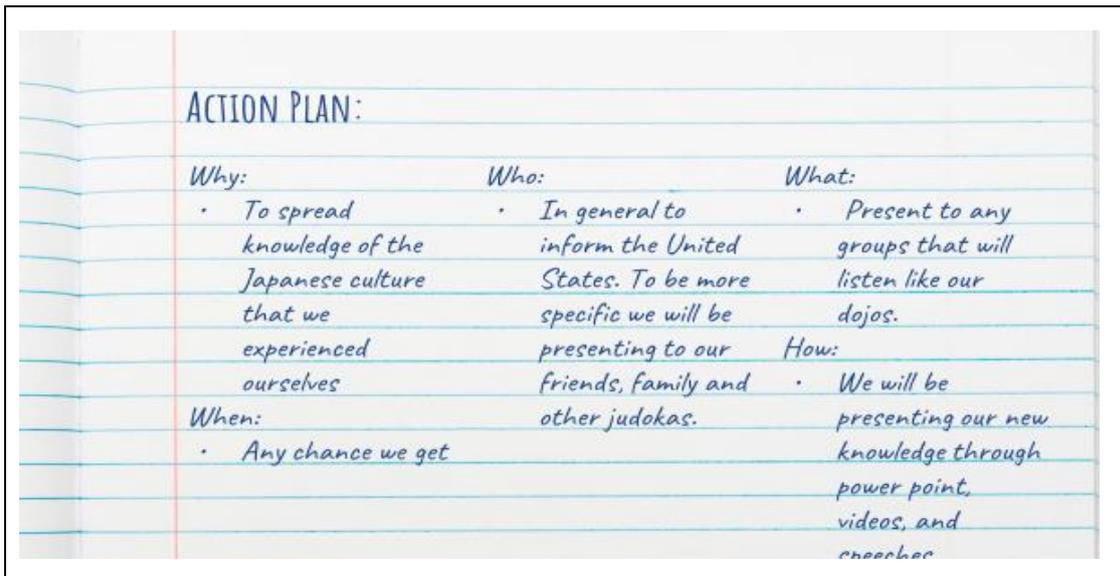


プログラムについての発信（Instagram）  
東京に来て、思いがけないような経験をしました。伝説の柔道場である講道館、外務省の方との出会い、おいしい日本食、新しい友達、更に友達の輪を広げることで将来を思い描けるようになりました。カケハシ・プロジェクト2018は素晴らしい機会を提供してくれました。感謝しています。



プログラムについての発信（Facebook）  
ついに私たちは、地方のニュースで配信されました。

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



### アクション・プランの発表

1. なぜ

私たちが体験した日本の文化を広める。

2. 誰に

アメリカ全土に伝える。具体的には、友人、家族や柔道仲間に向けてプレゼンテーションを行う。

3. 何を

私たちの道場のよう、興味のあるグループに対してプレゼンテーションを行う。

4. いつ

機会があれば、いつでもプレゼンテーションを行う。

5. どのように

パワーポイント、ビデオ、スピーチで新しい知識を発表する。